



みんなでできる 地球温暖化防止活動

— プラネタリー・バウンダリーを知る!! —

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまエコネットワーク)

*マークは県の地球環境保全のキャラクターです

■アースデイ (Earth Day)

アースデイ（地球の日）をご存知ですか。1970年に米国で始まった地球環境を考えるイベントです。毎年4月22日に世界各地で開かれています。コロナ禍の中、アースデイ東京2021が、代々木公園などの会場をオンラインで結び、「NEW HELLO!～新しいつながり 新しい当たり前」を掲げて開催されました。東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から丸10年、そのことを振り返る日でもありました。

■地球

地球は、水の惑星（planet・プラネット）です。宇宙ステーションから撮影した地球の写真は、青々としています。しかし、97%は海水です。残り3%の淡水も、ほとんどは冰雪、氷河、地下水で、人間が利用可能な淡水（湖、沼、川）は、0・01%

かないのです。人口の増加、農業や工業など人間活動の拡大のために、水不足など水の危機が進んでいるとの報告があります。

■プラネタリー・バウンダリー

うつくしま地球温暖化防止活動推進員の新山敦司さんに、地球のことについてお話ををお聞きしました。「プラネタリー・バウンダリー（PB：Planetary Boundary）という考え方があります。バウンダリーとは、臨界点（ティップティング・ポイント）のことですでの、PBは、地球の限界と訳されます。」

「地球の環境容量を、気候変動、窒素とリンの循環、土地利用変化、生物多様性の損失、化学物質による汚染など9つを対象に定量的に評価をします。9つの中には、淡水の利用もあります。」

■みんなでできる地球温暖化防止活動

新山さんは「私たちは、地球のあらゆる資源を使って生きています。水、空気、土壤を汚しても、地球上には回復する能力がありますが、しかし、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会をこのまま続けると、環境容量の限界を超えてってしまいます。」と警鐘を鳴らします。「気候変動の大きな原因である地球温暖化を防止する活動は、地球市民である私たち全員で考え行動し、新しい社会をつくる活動です。」

（連絡先）<http://fukushima-ondankaboushi.org/>